

2021年度 杏林大学 市民聴講生講座 募集要項

■ 提供科目

時期	講座名／講師名	講座内容	期間／曜日／時間／授業形態
前期	「英語学特論Ⅲ」 八木橋 宏勇 外国語学部 准教授	認知言語学は、Chomskyによる文法を中心とした言語理論である「生成文法」に対するアンチテーゼとして、1980年代にGeorge LakoffやRonald Langackerの研究からその名称を与えられた理論言語学の枠組みである。言語を独立したモジュールと捉える生成文法の対極に位置し、言語を一般認知能力の発現として考える。個別研究を積み重ねながら、関連諸分野との協同研究を積極的に行うことで漸次理論を深化させてきた。 本講義は、認知言語学的前提を「精確に」理解することから始める。最終的には、「形式と意味の有契性(動機づけ)」と「用法基盤モデル」の観点から日常の言語現象を分析的に考えるトレーニングを通して、ことばに関する様々な現象(語・句・文・談話レベル)への興味関心および洞察力を深めることを目的とする。	4/9 ～ 7/16 毎週金曜日・5限 16:20～17:50 対面授業
前期	「アジアの文学・文化(韓)」 鄭 英淑 外国語学部 教授	今、世界はグローバル化している。もはや各個人は一国の国民でありながら、各国をつなぎ合わせた拡張した領域で生きていかなければならなくなった。このような状況で、日本人・韓国人だけでなくアジア人・世界人として生きていくためには、広い視野をもち、他の国の社会事情を知り、さらに理解することが必要になる。そこで、東アジアの中でも昔から交流があり、歴史的にも深い関係を持つ韓国(人)について知っていく。前半では、説話を紹介して昔からの韓国民族の思想・感情・情緒を吟味し、後半では現代韓国の文化を紹介し、韓国文化全般について理解する。これは発展的な日韓関係、東アジア共同体構築に向けての広い視野を持つにもつながると考える。	4/8 ～ 7/22 毎週木曜日・4限 14:40～16:10 オンライン授業
前期	「日本文化論(中・観)」 金田一 秀穂 外国語学部 客員教授	文化について、集団によって後天的に学習された意味付けの仕方、と捉え、日本についてもそのようにして分析したいと考えています。海外からの留学生の経験や自身の海外経験、異文化接触経験を持ち寄って、日本について少しでも明らかにしていきたいので、出席者の積極的な参加を求めます。授業中の質問、意見表明[賛否両論]を歓迎します。また授業時間外での各人の調査やその報告を求めるかもしれません。それぞれの回、特に復習については、次回の授業までに最低一つの質問を考えておくくらいのことをしてください。	4/7 ～ 7/21 毎週水曜日・4限 14:40～16:10 オンライン授業
前期	「生活と法(春)」 大山 徹 総合政策学部 教授	本講義では、新聞記事や過去に生じた具体的な事件を素材にして、法学に親近感を持ってもらうような授業を行うよう心掛ける。法学では、難解な用語や概念が駆使されるが、担当教員はわかりやすく講義するよう心掛けるので安心して受講されたい。判決三段論法や事実認定の三段論法、法令の読み方、判例の意義などを順次解説していく。法学学にまつわる現代社会特有の象徴的な現象にも適宜言及していく予定である。	4/9 ～ 7/16 毎週金曜日・1限 9:00～10:30 オンライン授業
前期	「刑法Ⅰ(総論)」 大山 徹 総合政策学部 教授	この講義では、刑法総論における解釈学上の基本的な論点を取り扱う。伝統的な刑法学においては、犯罪とは、構成要件に該当し違法で有害な行為をいうが、犯罪論体系の有する意味につき初学者にわかりやすく講義をすることを心がけるため、安心して受講されたい。 行為論、構成要件論、違法論、責任論、未遂論、共犯論の順番でレクチャーしていくことにするが、できる限り抽象的な話に終始しないよう具体例をあげながら丁寧に講義を行うよう心がける。	4/9 ～ 7/16 毎週金曜日・3限 13:00～14:30 オンライン授業
前期	「中東・アフリカの政治・経済」 知原 信良 総合政策学部 教授	中東・アフリカ諸国は多様な資源やエネルギーの供給源であるだけでなく、新たなビジネスパートナーとしても注目を集める。また魅力ある観光資源も豊富である。地理的に遠く宗教が絡むことから敬遠されがちであるが、話題になることたびたびで気になる国も多い。歴史、宗教、文化にも話題を広げながら、この地域の経済・政治の課題について考える。	4/6 ～ 7/20 毎週火曜日・2限 10:40～12:10 対面授業
前期	「国際経済学B(金融)」 西 孝 総合政策学部 教授	国際収支表と為替レートの経済学について講義する。 本講義では、国境を越えた経済取引の実態について、国際収支表の読み方、および外国為替市場の諸制度について学ぶ。加えて、為替レートが円高になったり、円安になったりするメカニズムについても解説する。	4/8 ～ 7/22 毎週木曜日・3限 13:00～14:30 オンライン授業 (オンデマンド)

時期	講座名／講師名	講座内容	期間／曜日／時間／授業形態
前期	「日本国憲法／法学B」 尾崎 愛美 総合政策学部 講師	立憲主義思想を概観した上で、憲法一般について理解を深める。つぎに、様々な基本的人権(法の下での平等・精神的自由権・経済的自由権・社会権)に関する理論について、事例を通じて学習し、社会生活を営む上で必要とされる憲法知識の獲得を目的とする。さらに、現代社会が抱える諸問題につき、日本国憲法を軸としてその基本的な理解を得ることができるようにする。	4/8 ～ 7/22 毎週木曜日・1限 9:00～10:30 オンライン授業 (オンデマンド)
前期	「食品製造学」 大久 朋子 保健学部 准教授	食品を大別すると植物性食品と動物性食品に分類できる。人間は、この食品を洗う、挽く、捏ねる、おろす、のす、切る、漬けるなどの物理的調理操作から、焼く、炒める、蒸す、煮る、茹でる等の加熱調理操作、発酵、凝固などの化学的調理操作を用いることによって、様々な食品を製造してきた。そこには理論があり、それによって技術が進歩してきたのである。この各種加工品の製造手法を中心に学ぶ	4/7 ～ 7/21 毎週水曜日・3限 13:00～14:30 対面授業
後期	「英語学演習Ⅰ」 稲垣 大輔 外国語学部 教授	今日、好むと好まざるにかかわらず、情報の多くは英語で世界中を駆け巡っています。多くの学問分野の先端的情報も英語で発信されています。もし、その情報を得たければ、英語を読むことを通して得なければなりません。また、もし、自分の主張を世界の人々に向けて発信したければ、英語でそれを書かざるをえません。 この授業では、英語で書かれた英語学関連、主に統語論を扱った論文を演習形式で輪読します。統語論の基本的な考え方、理論的枠組、専門用語の概念などを理解した上で、論文の主張を正しく理解する能力を養います。 同時に、手本となる良い論文を読むことを通して、論文の全体的構成、論文の骨組みになる基本的な表現、議論の的確に展開する表現などを学び、実際に自分で使えるようになるアカデミックライティングの能力を身につけます。	9/21～2022/1/18 毎週火曜日・3限 13:00～14:30 対面授業
後期	「英語学演習Ⅲ」 八木橋 宏勇 外国語学部 准教授	英語母語話者の頭の中の中にあり、英語を使えるようにしている知識とは、いったいどのようなものなのだろうか。そして、その知識を持っていることと、その知識を使うことができることの間にある乖離をいかに埋めていくのがよいのだろうか。 本講義は、認知言語学の理論的枠組みを用いて、「形式と意味の有契性(動機づけ)」と「用法基盤モデル」の観点から日常の言語現象を分析的に考えるトレーニングを行う。この積み重ねにより、ことばに関する様々な現象(語・句・文・談話レベル)への興味関心および洞察力を深めることを目的とする。 ※必要に応じてプリントを適宜配布します。「ことばを使うことができる」という日常的ながら深淵な世界を主体的かつ意欲的に体感したい方を歓迎します。	9/17 ～ 2022/1/7 毎週金曜日・5限 16:20～17:50 対面授業
後期	「宿泊産業論」 西山 桂子 外国語学部 准教授	世界の宿泊産業の現状を俯瞰し、宿泊ビジネスの様々な課題を多面的に考察することが本講座の目的です。本講座の内容は、おもに以下の5点です。①グローバルホテルオペレーター(マリオットやヒルトンなど)の経営と戦略②宿泊施設の運営(オペレーション)と不動産投資・所有(アセットマネジメント)③宿泊施設の3段階(開発・運営・売却(リノベーションなど))における実務と課題④宿泊産業の収益構造や市場を理解するための指標分析⑤宿泊施設の多様な業態	9/21 ～ 2022/1/18 毎週火曜日・3限 13:00～14:30 対面授業
後期	「英語文学Ⅱ」 高木 眞佐子 外国語学部 教授	主に英語圏で書かれた児童文学を、文学史を意識しつつテーマ別に概観する。理論は一部のみにとどめ、時代思潮や作家の作品世界に親しみ、より深く理解するためにDVD鑑賞なども行う。授業の中で取り上げる全ての作品を実際に読むことはできないが、英語のダイジェスト版や日本語訳などで、できるだけ多くの作品を読破することを目標にして欲しい。映画による疑似体験を増やすことも大いに奨励する。日本の近現代における児童文学発展とも絡めながら英語圏の児童文学の発展を概説していく。	9/17 ～ 2022/1/7 毎週金曜日・4限 14:40～16:10 対面授業

時期	講座名／講師名	講座内容	期間／曜日／時間／授業形態
後期	「時事問題研究B」 島村 直幸 総合政策学部 准教授	国際政治経済の時事問題について、レジュメや新聞記事などを題材にして理解を深めていく。 2016年は、アメリカ大統領選挙や日本の参議院選挙など、国際的に選挙の年であった。2017年は、ドナルド・トランプがアメリカの新しい大統領となった。2018年にはトランプ外交が本格的に始動した。2018年から2020年にかけては、米中貿易戦争が勃発している。米中間で「新しい冷戦」まで指摘される。 また、BRICSなど新興国の台頭を受け、地政学が復活した、という議論もある。「イスラーム国(IS)」の脅威の衰退後も、シリアの内戦やイラン問題など、中東情勢は混迷を深めている。アメリカ外交は、オバマ政権の下で、迷走を深めた。トランプ外交は、混迷を極めた。バイデン政権の政策対応が注目される。 21世紀の国際秩序は、いかなる方向へ向かうのであろうか。	9/17～2022/1/7 毎週金曜日・3限 13:00～14:30 授業形態未定
後期	「刑法Ⅱ(各論)」 大山 徹 総合政策学部 教授	刑法各論においては、まず、各々の犯罪がどのような法益を保護するために存在しているのかということを講義する。明治40年に制定された刑法典では、国家的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・個人的法益に対する罪の順番でそれぞれの犯罪を配列しているが、本講義においては、個人的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・国家的法益に対する罪の順番で講義を行うことにする。それぞれの犯罪の成立要件は何か、犯罪類型相互の関係はどうなっているか、正確に理解できるように、丁寧な講義を毎回するよう心掛ける。予備知識は一切必要ないので、安心して受講されたい	9/21～2022/1/18 毎週火曜日・3限 13:00～14:10 オンライン授業
後期	「国際会計論」 内藤 高雄 総合政策学部 教授	近年、多国籍企業の増大、経済・資本市場のボーダレス化、金融の自由化・国際化にともない、会計制度は急速にグローバル化されてきた。本講義では国際会計の諸問題を、国際取引会計、比較制度会計、会計制度の国際的統一の3つのカテゴリーに分けながら、それぞれについて詳説していくことにする。その際、現在、IFRSやIASという名称で話題になっている、会計制度の国際的統一の問題に力点を入れながら、最新の状況を織り込みながら、講義していく。	9/17～2022/1/7 毎週金曜日・4限 14:40～16:10 対面授業
後期	「経営学総論Ⅱ」 糟谷 崇 総合政策学部 准教授	この講義では最新の経営理論やフレームワークなど、現代企業において欠かすことのできない考え方を身につけること。こうした経営学の概念を実践に活用できるよう能力を身につけることを目的としている。	9/17～2022/1/7 毎週金曜日・2限 10:40～12:10 オンライン授業
後期	「国際政治経済学」 三浦 秀之 総合政策学部 准教授	国際社会はアナーキーである。つまり、国内社会と異なり、中央政府が存在しないのである。しかしながら、そのことは国際社会に秩序が存在しないことを意味するのではない。国際社会は様々な制度を構築することにより、国境を越える経済的に問題に対処してきたのである。本講義では、国際政治経済学の基礎を体系的に学ぶことを目指しています。具体的には、近代以降の国家間の経済関係(特に貿易や投資の自由化)の政治的側面に焦点を当て、概観して行きます。	9/21～2022/1/18 毎週火曜日・1限 9:00～10:30 オンライン授業
後期	「生命倫理学」 角田 ますみ 保健学部 准教授	学生自身に「自分はどんな人生を送りたいか」、その前提となる「自分の価値観」とは何かについて考えてもらいながら、将来の自分の人生、あるいは対人援助において、倫理的な問題やジレンマに正しく対処できるように、生命倫理の主な基礎知識を修得し、人生の様々な場面における倫理的問題について考えることができるようになることを目的とする。自分自身の資質や価値観を見いだす時に参考になる枠組みやツールについて教授し、倫理的問題やジレンマに遭遇した時の対処能力を養う	9/22 ～ 2022/1/19 毎週水曜日・2限 10:40～12:10 授業形態未定
後期	「高齢保健学」 岡本 博照 保健学部 准教授	わが国は人類未達の超高齢社会に向かって進んでいる。高齢期にいかに関心を維持するかについて個人、国レベルを問わず重大な課題である。本授業では高齢者の多様な心身の問題(老化と身体機能、生活習慣病、ロコモティブ・シンドローム、認知症、誤嚥や高齢者の事故など)について取り上げ、予防や対応について学習する。	9/20(祝) ～ 2022/1/17 毎週月曜日・5限 16:20～17:50 授業形態未定

※ 曜日・時限・授業内容・授業形態は変更の可能性があります。予めご了承下さい。

※ 祝日開講する講座もあります。

【申込受付期間】 ◇前期期間 2021年3月15日(月)～3月26日(金)
◇後期期間 2021年7月16日(金)～8月13日(金)

【対象】 原則、18歳以上の方で、大学レベルの講義に関して学習意欲のある方。

【募集人員】 いずれも若干名(申込多数の場合は、締切前に申込をお断りすることもあります)

【受講料】 1科目 11,000円
※ 三鷹市在住の18歳以上の市民(学生を除く)の場合、年間1科目を限度に1,500円を助成します。
助成を希望される方は証明書類(運転免許証・健康保険証等)を提示ください。
※ 教材費がある場合は、実費負担となります。

【申込・支払方法】 三鷹ネットワーク大学の窓口で現金にて支払(受講申込書あり)

■ 注意事項等

- ◇ 講義は正規学生と共に受けていただきます。
- ◇ 学内のルールを守られない方や正規学生及び他の受講生、教職員への迷惑行為をされた方は期間中でも受講をお断りします。(受講料の返還はありません)
- ◇ 欠席された場合、講義のレジュメ等の取り置きはいたしませんのでご了承下さい。
- ◇ 一旦申込まれた講座の変更は原則としてできません。(受講料の返還はありません)
- ◇ 公共交通機関をご利用下さい。駐車場・駐輪場はありません。
- ◇ **新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、科目によってはZoom等を使ったオンライン授業となります。**
※オンデマンド対応科目も含まれます。
PC・タブレット・スマートフォンいずれかの機器をご用意いただく場合がありますことをご承知おき下さい。
- ※ 詳細はお問合せ下さい。

市民聴講生講座に関する問い合わせ先

杏林大学 (井の頭キャンパス) 地域交流課
〒181-8612
東京都三鷹市下連雀5-4-1
TEL: 0422-47-8000 (代表)
窓口取扱時間
平日: 9:00～17:15
土曜: 9:00～13:00



申込・支払先

特定非営利活動法人
三鷹ネットワーク大学推進機構
〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3-24-3
三鷹駅前協同ビル3階
TEL: 0422-40-0313
開館時間
火曜日～土曜日: 9:30～21:30

